

平成30年9月熊野市議会定例会市政報告

おはようございます。本日、平成30年9月熊野市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆さま方には大変お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

それでは定例会の開会にあたり、これから取り組む、また現在取り組んでいる主な事業の概要や進捗状況など4項目について簡単にご報告いたします。

その前に、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、そして先週発生した北海道地震により被災された皆さんに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心からお祈り申し上げます。

また、当市におきましても8月23日の台風20号、9月4日の台風21号と相次ぐ台風の接近により、少なからず被害が発生しました。幸いにも人的被害はありませんでしたが、市内各地で停電や断水、道路等への倒木、土砂崩れなどが発生しました。

なかでも停電については、大切な防災情報の速やかな入手や伝達が困難になることに加え、水道等のライフラインが機能を失うなど

市民生活に大きな影響が出たことから、電気事業者に対し繰り返し強い要請を行うとともに連携協力を図ることで、早期復旧に努めたところでは。

今後も、台風や懸念される巨大地震など、災害への備えを怠ることなく防災・減災対策の一層の強化に取り組んでまいります。

それでは、まず1点目の熊野大花火大会についてでございます。

8月17日に開催しました熊野大花火大会につきましては、過ごし易い気候のなか、花火がよく見える絶好の風向きとなるなど、素晴らしい花火大会となりました。

また、当日は豪華客船5隻を含め、約17万人の観客をお迎えしましたが、大きなトラブルもなく無事に終えることができました。

熊野大花火大会の開催にあたり、多大なご尽力をいただきました多くの関係者の皆さんやボランティアの皆さんに心から深く感謝を申し上げます。

次に2点目の台湾ソフトボール協会との連携協力に関する協定締結についてでございます。

9月4日に予定していた本市と台湾ソフトボール協会との協定締

結につきましては、台風21号に備えるため急遽、私が台湾訪問を中止したことから延期となりました。

今後、あらためて調整を図り、早期に協定を締結することができるよう進めてまいります。

なお、本市ソフトボール協会と台中市体育總會壘球委員会との協定につきまは、予定どおり山本洋信会長と職員1名が台湾を訪問し調印を済ませていただきました。

また、内閣府より、本市を東京オリンピック・パラリンピックにおける台湾のホストタウンとして登録することを決定したとの通知を受けました。ソフトボールを通じた交流が決定理由であり、引き続き活発に交流を進めてまいります。

次に3点目の国際交流員についてでございます。

姉妹都市イタリア・ソレント市を通じて、7月6日より国際交流員1名を採用いたしました。主な業務としましては、姉妹都市ソレント市との連絡調整、相互訪問や文化交流の推進、地域行事への参加等であり、国際交流事業の一層の充実に取り組んでまいります。

また、外国人の視点による本市の観光情報の海外発信や外国人観光客の受け入れ環境の整備に携わるなど、インバウンド対策の支援

についても担当いたします。

次に、4点目のクマノザクラの普及促進についてでございます。

本年3月、紀伊半島南部に群生しているサクラが約百年ぶりに新種と判明し、熊野地方にちなみ「クマノザクラ」と命名されました。

当市におきましても紀和町を中心に生息が確認されています。

今後、市といたしましては、同じ「クマノ」の名前を持つ、このクマノザクラを大切に守り育てていくとともに、他に先駆けて大々的に市内に普及させることで、当市の新たな魅力としてまいりたいと考えております。

以上、主な事業の進捗状況などについてご報告いたしました。

なお、今定例会におきましては、工事変更請負契約の締結など議案7件、報告4件、諮問1件、合わせて12の案件を提出いたしております。

よろしく、ご審議を賜りますようお願い申し上げ、開会にあたりましての市政報告とさせていただきます。